

(公社)埼玉県介護老人保健施設協会
会長 小川郁男 様

施設名 高齢者ケアセンターゆらぎ
氏名 石井 亜由子

研修会報告書

研修会名	第1回 栄養関係職員研修会					
日時	令和元年 7月11日(木) 10:00~16:30					
会場	埼玉県県民活動総合センター セミナーホール1					
講師	午前：埼玉県 介護保険施設・介護事業担当 主査 田口芳正/施設・事業者指導担当 主事 松田和平 午後：摂食・嚥下障害認定看護師 山下里美氏 / 認知症看護認定看護師 今井広恵氏					
参加人数	106名(100名+研修メンバー6名)/定員100名					
研修委員 (氏名・施設名)	村松 昭信(鶴寿の里ナーシングホーム)・原宏美(いこいの家) 和多勝弘(みどりの杜)・角田幸穂(ケア・ビレッジ・シャローム) 野村知恵子(エルサ上尾)・石井亜由子(高齢者ケアセンターゆらぎ)					
研修会のテーマ	『管理栄養士の係わる介護保険加算について～加算の取り方と注意点について～』 『認知症の方への食事アプローチ』					
研修会の評価	アンケート回収枚数	95 枚		3. グループワーク	4 / 5	
	1. 研修内容と目的の一致	4 / 5		4. 研修会の進め方	4.1 / 5	
	2. 講義に対する評価	①	4 / 5		～総合評価点～	28 / 35
		②	4 / 5			
③		4 / 5				
④		4 / 5				
総 評	(研修会開催後の反省会での内容や研修委員としての感想等を記述)					
	今回の研修は、前年度の反省により土曜日開催ではなく平日の開催にしたこと、今年度第1回ということ、テーマがニーズに合ったものであったためなのか、定員の100名の参加があり大盛況だった。					
	午前の県の職員による「管理栄養士が係わる介護保険加算について」は、アンケートの結果をみると役に立つという意見も多かったが、質問に県の職員から明確な答えが頂けなかったため、やや消化不良であった。					
	質問へのフォローとしては、質問がある人は内容を事務局に送り、まとめて県・さいたま市に回答してもらうという形を事務局の協力のもと行うことにしている。					
	フードケアの講義では食の連携についてであったが、内容が具体的や試食がありわかりやすかったと好評だった。					
	午後の「認知症の方への食事アプローチ」では、摂食嚥下障害認定看護師と認知症認定看護師の2人に同一テーマで講義をしていただいた。					
	アンケートをみると内容がかぶっていて残念という指摘もあったが、認知症の種類の特徴を詳しく説明していただき、認知症の種類によって食事のアプローチの方法が違うこと、また食事介助やポジショニング、口腔ケアなど安全な食支援のために、実際の業務に活かしたいなどの意見もいただく事ができた。					
	グループディスカッションでは、栄養士という各施設で少人数の職種であるため、悩みを相談、共有できたとの意見や、各施設の取り組みを知ることができたなど概ね好評であった。					
	あらかじめ座席をエリア別に配置し、グループもエリア別で行っているため仲間作りになればと思う。					
	タイトなスケジュールであったが運営はスムーズとの意見も多かった。もう少し余裕がほしいなどの意見もあったので、次回以降の研修の参考にしていきたい。					

*アンケート結果の詳細については、別紙添付資料「研修会アンケートのまとめ」を参照。